



学校法人 本庄学園 国分幼稚園

本幼稚園は教育基本法及び学校教育法に従い幼児教育を行うことを目標とし、幼児期の3才～5才迄の極めて大切な時期に形成される「興味関心・意欲・社会ルール・生活の秩序等々」を、人格形成の基礎と考え、その大切な幼児期の教育を且つて、最も大切な人格の芯（徳育）を育てるものである。

1. 教育目標

当園は2歳～5歳の障害児をも含めた子ども達が、共に生活する混合クラスであり、さまざまな子どもが生活する中で思いやり、いたわり、尊敬、憧れといった心を育て、個性や人格を自らの努力で育ててほしい子どもが主人公の幼稚園を目指します。

子どもの内なる叫びは「わたしがひとりのできるように手伝って」です。すべてを偶然に任せるのではなく、子どもの成長に科学的注意と世話を向けつつ子どもの自発的な活動を促し、行事やカリキュラムに追われずに、ひとりひとりがじっくりとくり返し、満足のいくまで活動が続けられるよう、私達はよりよい自立への援助者として、深い愛情で子どもを見守り、適切な手助けで子どもと共に学ぶことを目標とします。

2. 評価項目・実践評価

| 評価項目      | 評価 | 評価状況   |
|-----------|----|--|
| 1 教育目標・方針 | A  | どの先生も園の方針に沿って子どもたち一人一人の成長を願い寄り添った保育をしていると感じます。                                   |
| 2 指導要録作成  | A  | 毎日の子どもたちの行動・状態を細心に掴んで園で共有してくださっています。また、一人一人の成長の段階を追って、適切な計画を練っているのが保護者にもよくわかります。 |
| 3 教育研修・研究 | A  | 外部の研修や講習会・講演会に遠方であってもお休みの日でも出かけて知識や技術を身につけていると伺っています。夏休みも研修が沢山あるようです。            |

|            |   |   |
|------------|---|---|
| 4 教育指導     | A | 常に子ども一人一人に目を向け、細やかに適切なタイミングで指導して下さるのが見えます。保護者にも子どもとの関わり方、声かけ方、その子どもに合った指導をたくさんします。                      |
| 5 報告・連絡・相談 | A | 連絡ノートの頻度はとても多いです。園での子どもの様子がよくわかります。また、心配事や相談には必ず返事がすぐに返ってきます。適切なアドバイスに答えます。                             |
| 6 安全・衛生管理  | A | 園舎・園庭は狭いですが、きれいにそして大切に管理されています。また園のお休みの日には修繕・工事等がしっかりと行われています。衛生面も先生方がよく気を配ってくださっています。                  |
| 7 その他      | A | 異年齢のお子さんや特別支援のお子さんと一緒に保育を受けるのも、子どもたちの情操には良いと思います。また園の終了後にも園庭を開放しているのがとても良いです。最近はないのか安心して安全に遊べる場所がほしいです。 |

評価基準

|   |         |
|---|---------|
| A | 達成できている |
| B | やや不十分   |
| C | 不十分     |

幼稚園関係者評価採点表

学

令和5年度

|   |               |
|---|---------------|
| A | 達成できている       |
| B | 取組みはあるが結果が不十分 |
| C | 取組みが不十分       |

記入者 可児 典子  
(令和5年度保護者会会長)

1

|   |  |   |
|---|--|---|
| ① | 園の教育方針が伝わって、共感出来ている。                                       | A |
| ② | 園の教職員が教育方針に添って保育ができています。                                   | A |
| ③ | 保育者として一貫した態度で子どもに向き合い、自分の都合で善悪の判断を変えたり、子どもとの約束をたがえたりしていない。 | A |

2

|   |  |   |
|---|--|---|
| ① | 年間・毎月・毎週の保育計画を明確である。   | A |
| ② | 子どもが明日の保育を楽しみにしながら喜んで登園できるよう、季節や子どもの関心・発達段階を考慮し、週や月ごとの生活や活動がどうなるか予測し保育計画を立てる事が見える。 | A |
| ③ | 子どもの一日の姿を思い出しながら、客観的な保育記録がつけられ、保護者に伝えられている。  | A |
| ④ | 子どもの成長発達を学期ごとや年度ごとに簡潔にまとめ、評価表や要録をつけ、保護者と共に考えている。                                   | A |

3

|   |   |   |
|---|---|---|
| ① | 保護者に対しての研修会・講習会が開催されている。                | A |
| ② | 保育者に足りない技術や知識、外部研修や本・新聞等で得た情報を伝えてくれている。 | A |
| ③ | 環境整備や教材準備など、遅滞なくされている。                  | A |

4

|   |                                 |   |
|---|---------------------------------|---|
| ① | 子どもと生活を共にし遊びを共有しながら理解につとめる。     | A |
| ② | 一人一人の子どもの独自性に配慮し子どもに応じた対応を行う。   | A |
| ③ | 障害を持つ子どもの理解につとめ、障害に応じた配慮・対応を行う。 | A |

5

|   |  |   |
|---|--|---|
| ① | 登園時に子どもの体調について情報を保護者から得て、特に病み上がりの子どもには配慮している。      | A |
| ② | 保護者からの投葉依頼をきちんと行い、体調の変化がないか注意深く見守っている。             | A |
| ③ | けがや体調不良の子どもが病院での治療が必要な場合は保護者に迅速に連絡をしたり降園後、適切に報告する。 | A |
| ④ | 子どもの生活を保護者に伝えたり、保護者の思いを聞きとるよう連絡ノートを書いている。          | A |

6

|   |  |   |
|---|--|---|
| ① | 遊具・園庭の安全点検をし、遊具の破損は見逃さずに補修されている。                 | A |
| ② | 子どもの生活の跡を振り返りながら清掃をし、翌日の準備がされている。                | A |
| ③ | 水場・トイレが不潔になっていたり、汚れていたりせず、常に清潔に清掃されている。          | A |
| ④ | 衛生に配慮し、子どもが口にするもの(コップ・歯ブラシ等々)の衛生やお弁当の管理に配慮されている。 | A |

7

|   |                                |   |
|---|--------------------------------|---|
| ① | 保護者と話す時、節度ある言葉使いで園の方針に従って話される。 | A |
| ② | 保護者に細かく目配りをして子育て支援を行ってくれている。   | A |